



全国通信三田会報

第106号 2018年(平成30年)2月10日 発行

発行 全国通信三田会 会報は正会員の情報紙です。
\*年会費 2千円
\*郵便振替番号 00120-2-18806
\*複数年度お支払いの意向をお持ちの方も会計処理できるようにしました。
\*会への連絡は8面の連絡先へ

第一〇六号

塾員センター“小島与志生”新部長に聞く

慶應義塾塾員センター「小島与志生」新部長と全国通信三田会「山岡恒夫」会長の対談が2017年12月11日(月)16時から17時半、三田キャンパス北館会議室において終始和やかに行われました。

山岡会長(以下山岡)この度は塾員センター部長兼基金室室長ご就任、誠にありがとうございます。

小島部長(以下小島)ありがとうございます。

2017年11月から前任の嶋崎部長にかわり、十数年振りに塾員センターへ戻って参りました。よろしく申し上げます。山岡 早速ですがこれまでの主なお仕事についてご紹介くださいませんか。

小島 1982年3月に慶應義塾大学法学部を卒業し、同年4月慶應義塾職員として入職。その後、ニューヨーク学院(高等部)事務室、秘書室秘書課(鳥居塾長当時)、塾員センター、文部科学省高等教育局への一時転籍を経て、女子高等学校事務室、そして一貫教育支援センター等で勤務しております。

山岡 大学の内外の多様な教育現場でご活躍されてきたんですね。特に、塾の一貫教育についてその概要を教えてください。

小島 「一貫教育」とは、小学校から大学・大学院まで整った「義塾の一貫した教育体系全体」のことを指しています。そのうえで「一貫教育校」とは、上記の「一貫教育」のうち「高等学校以下(小中高校の各教育課程)の学校全体あるいは各学校」のことです。現在は計10校、つまり小学校2校(幼稚園/横浜初等部)、中学校3校(普通部/中等部/湘南藤沢中等部)、高校5校(高等学校/志木高等学校/女子高等学校/湘南藤沢高等部/ニューヨーク学院(高等部))です。このうち、横浜初等部の第1回卒業生が、2019年4月に湘南藤沢中等部に塾内進学することで、横浜初等部→湘南藤沢中等部→湘南藤沢高等部において、小中高一貫教育の教育体系が整備されます。

山岡 塾において「一貫教育」の始まりはいつ頃からでしょうか？



小島与志生 塾員センター部長を囲んで

小島 1858年 福澤諭吉先生が蘭学塾を創始、1868年 慶應義塾と命名。1874年 全幅の信頼を寄せていた高弟・和田義郎に依頼して、塾生中の幼い者を対象とした「和田塾」(現在の幼稚園の前身。幼稚園と呼ぶようになったのは1880年頃のこと)を開塾。1898年 5年制の大学部(高等教育)/5年制の普通部(中等教育)/6年制の幼稚園(初等教育)からなる「一貫した教育組織」に改編されました。大学卒業まで、幼稚園からは16年/普通部からは10年という、今日と同じ修業年限の一貫教育が確立したのは、この時になります。

山岡 どのような特色がありますか？

小島 各学校は過度の規則や指導によらず、自らの考えで行動し責任をとる「独立自尊」の人づくりを受け継いでうえて、各校が歩んできた歴史とそれを通じて培われた伝統・規模・地域・男女共学・男女別学等の点で異なる個性を有しており、各学校の多様性に富んだ姿は「同一の中の多様」と表現されています。

慶應義塾「一貫教育校派遣留学制度」とは？

山岡 また最近一貫教育校派遣留学制度について耳にいたしますが……。

小島 はい、2014年、高等学校段階の生徒を対象として「慶應義塾一貫教育校派遣留学制度」がスタートしました。塾内の一貫教育校(高等学校段階)から、各校の枠を越えて選抜した生徒を、米国・英国の名門ボーディングスクール(米国テン・スクールズ/英国ザ・ナインと呼ばれる世界屈指の寄宿制学校)に派遣し、世界中

から集まる優れた人材と寝食を共にしながら切磋琢磨できる機会を設け、グローバルなスケールでの人格の陶冶を通じて、豊かな人間性と総合的な学力を備えた「世界に通用する人材の育成」を図ることを目的としています。すでに2014年4名、15年6名(留学先校の特待生制度による1名を含む)、16年4名、17年5名計19名の実績となっています。

留学先の各校からは、正課の授業を通じて勉強だけできる生徒ではなく、課外活動における芸術・スポーツ等にも力を注ぐ確かな総合力のある生徒が求められています。義塾の一貫教育校から選抜された生徒たちは皆その期待に見事に応えそれぞれの生徒らしい実績を残しています。

長谷山塾長が常任理事在任中に複数の現地の学校に何回も足を運ばれ、学校長等との人的交流を積み重ねられてきたことが、制度立上げにとって大きな力になりました。

山岡 通信三田会の私たちにはこれまでと全く見えにくかった塾の留学制度の素晴らしさをお聞きして感動いたしました。ありがとうございます。

ところで、三田会のご様子はどのような印象でしょうか？

小島 まだ一ヶ月ですが、地域三田会を中心に首都圏から東北地方までいくつかの三田会へお伺いし、ありがたいことにとどの三田会でも温かく迎えていただいています。

山岡 様々な三田会があり、ご多用で大変な面もあると存じます。

小島 鳥居元塾長が以前に「山脈のように連なる塾員の方々の睦み合い、学び合いの場が三田会である」と仰っていましたが、正にその通りと思います。

山岡 本日はありがとうございました。今後とも全国通信三田会を宜しくお願い申し上げます。

小島 こちらこそどうぞ宜しくお願い申し上げます。 文責・広報部副部長 星野 寿美

近代日本と慶應スポーツ

昨年11月28日、12月13日、三田キャンパス東館8階ホール特設会場で行われていた、体育会創立二二五年記念特別展を覗いてみました。会場は一部屋ですが、一八〇点ほどの展示物が並んでいて、慶應人のスポーツとの関わりを知る事ができました。福澤先生は、「身体健康精神活撥」という書を残されていますが、活発な知的活動の前提として、肉体を健康に保つことの重要性を強調しました。それは人格の円滑形成といつた規範的な発想ではなく、医学的な視点と云うものであったようです。「健康」という語は、大阪適塾の緒方洪庵の「病氣通論」において、初めて用いられ、福澤先生が広めたとされており、展示のうちの何点かを紹介します。



福澤諭吉使用の居合刀
リオ五輪四〇mリレー決勝で日本チームが使用したバトン
早慶戦野球戦出場選手

慶應義塾ならびに連合三田会人事動静
新(通教担当兼務)常任理事 青山 藤詞郎 理工学部教授
新(三田会担当兼務)常任理事 駒村 圭吾 法学部教授
新 通信教育部長 奈良 雅俊 文学部教授
慶應義塾文学部博士課程 哲学専攻修了 2017年10月通教部長(前 通教部長の池田幸弘教授は、経済学部長へご栄進)
新 塾員センター部長兼基金室室長 小島 与志生 様
塾員センター課長 北村 和夫 様(前 嶋崎元章塾員センター部長は日吉キャンパス事務長へご栄転)
新 慶應連合三田会名誉会長 長谷山 彰 塾長・理事長
慶應連合三田会会長 比企 能樹 様
慶應連合三田会事務局長 村田 作彌 様

第10回北関東合同三田会のご案内
日時: 2018年9月8~9日。11時30分東武日光駅集合
駅近くのレストランで昼食後、平成の大修理を終えた「日光東照宮」陽明門等を見学。奥日光で1泊懇親会(ホテル未定交渉中)。翌日は貸し切りバスで中禅寺湖畔の英国大使館別荘記念公園や立木観音等、地元栃木民おすすめスポットを数ヶ所ご案内。
屋頂いろは坂を下り、日光金谷ホテル歴史館隣接のカテッジインレストランにてランチ。その後東武日光駅で解散予定。
会費: 見込み額は1日目のみの参加の場合昼食代1500円程度1泊の場合1万6千円前後、どちらもプラス拝観料。
連絡先: 栃木通信三田会 根本 義夫 千329-3135 栃木県那須塩原市前弥六108-6

◆今号に、加納時男さんの追悼文を掲載した。
加納さんは常に、通信三田会を気にかけておられ、会報ができるとすぐに目を通されて、感想をお寄せ下さった。
記憶に新しいのは、二〇〇号記念号を発行するに当たり、加納さんに原稿をお願いすると、「もう書けない」と一言言われたのだ。原稿をお願いすると必ず書いてくださったのに、筆も持てないほどの病状は逼迫されていたのかもしれない。
そこで一〇〇号の一面を嶋崎塾員センター部長と山岡会長の原稿で埋めたいが、どうしても紙面が埋まらない。そこで苦肉の策として、これまでの全国会報を斜めに1号から88号までをビックアップして並べ紙面を埋めた。これを見られた加納さん

「尾道物語」
「尾道物語」
河村保著
文芸社セレクトジョン 500円+税

ユニコン賞推薦要綱
ユニコン賞は、慶應義塾大学通信教育部開設20周年を記念して、1967年に制定されました。
在学中、各慶友会において、学習リーダー等として、学友のために献身的な努力をされた方の労に感謝と希望を込めて、全国通信三田会がお贈りいたします。
つきましては、今年度の9月ご卒業ならびに3月ご卒業予定者の塾生で、各慶友会活動に尽力され、それを活かして三田会でも活動して下さる方を下記の要領で推薦を頂き、全国通信三田会(役員会)が厳正なる選考の上で受賞者を決定します。
①被推薦者直筆の略歴(入学年度+慶友会での活動経歴+卒業予定年月)
②被推薦者の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号 Eメールアドレス(直接連絡可能なもの)
③活動を証明する資料(慶友会に関するニュースレター・会報等)
④所属する慶友会会長、同代表者の推薦書
⑤地域通信三田会会長の推薦書(面談の上)
⑥本人の顔写真(スナップ可)
※締め切り日は毎年2月中旬~月末
推薦書は指定の送り先へ(ユニコン賞推薦書在中と朱書き)
詳細及び送り先は下記メール(総務)宛に Eメール: keio2mita-soumu@freeml.com

会への連絡は下記へ
下記のようにご連絡くださるようお願いいたします。
◎会へのご意見など
事務所へは郵送のみでお願いします。
緊急の用件の場合
会長へ Tel 029-875-0533
山岡方(夜間7時~11時まで)
◎住所・姓名変更 退会 逝去者など
田沼方 Fax 03-5942-8678
(住所変更は下記塾員センターへご一報!)
https://www.d01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html
◎新入会申し込み、会計関係(文書で)
千340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方
◎「全国通信三田会報」原稿送り先
千376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方
Tel & Fax 0277-73-1529
Eメール sincere@vi.sunfield.ne.jp
次号原稿締め切り 平成30年5月末日 原稿字数 8000字位

編集後記

第11回九州合同通信三田会 福岡大会報告 古賀 敏生

第11回九州合同通信三田会福岡大会を平成29年9月9日土曜日14時から「はるか近代ビル1階104号室(福岡市)」で開催しました。開会に先立ち、昨年の長崎大会以降にお亡くなりになった先輩や仲間、九州北部豪雨でお亡くなりになった方々のご冥福と被災からの復旧・復興を祈念して黙祷を捧げました。

その後、全員で塾歌斉唱。本会松尾成男君の司会で開会し、私、福岡通信三田会会長の古賀が歓迎の挨拶を行いました。次に、全国通信三田会会長祝辞を瀬戸田副会長から塾の近況も併せてお話を、更に、福岡三田会の明石会長からは福岡三田会の現状や来年「九州・沖縄連合三田会」が福岡で開催されることなどのお話、祝辞を頂きました。次に、各通信三田会の活動状況をお話の報告後、九州合同通信三田会の活性化についての意見交換を行いました。また、次回開催については、熊本通信三田会に引き受けて頂きました。続いて、本会副会長で象関係の仕事をしている立石昭二君から「命を守る気象情報」と題して講演を



第9回 北関東合同通信三田会

平成29年9月10日(日)群馬県高崎市にて、来賓に大川成一全国通信三田会副会長・高橋豊副会長を迎え参加者26名で行われた。高崎駅から貸切りバスで出発、群馬産食材使用の豆腐料理専門店「松邑(まつむら)」にて和やかな交流会。全員による近況報告や次回の北関東合同通信三田会の計画も発表された。交流会後は高崎市の2つの代表的パワースポットを見学。まず、国の「登録有形文化財」に指定された「高崎白衣大観音」にて観音菩薩の慈悲の像を眺め、その胎内に入り20体の仏様や高僧の像を見学した。最後に、達磨大師の教えを受け継ぐ縁起だるま発祥の寺「少林山達磨寺」にて住職によるミニ講話を拝聴し、縁起だるまをお土産に購入する塾員も多数おり、貸切りバスで高崎駅へ戻り名残惜しさをもちつつ解散した。今回は集合前に、水戸駅からの電車による事故によるストップのハプニングもあり、茨城通信三田会からの参加者にはご心痛をお掛けしたが、無事に交流会の途中で合流でき、参加者一同が安心の拍手で迎えた。なお、次回の記念すべき第10回北関東合同通信三田会は、栃木通信三田会担当による初めての1泊での開催を予定しており、北関東だけでなく広く皆さんからの参加を大歓迎しお待ちしている。星野寿美・記

第25回 東海地区合同通信三田会

9月24日(日)11時より「アイリス愛知」(名古屋市)にて、第25回東海地区合同通信三田会を開催した。浅岡俊一君の司会により開会し、全員で塾歌斉唱。最初に私愛知通信三田会会長岩田が挨拶。次に全国通信三田会山岡会長からご挨拶をいただき、「一読、十笑、百吸、千字、万歩のすすめ」(一日一度は少し堅めの文章を読む、十回は大笑いする、百回は深呼吸する、千字は文字を書く、一万歩は歩く)についてもお話をいただく。また今回は25回を記念して、全国通信三田会地域連絡副部長東海地区担当伏屋重晴君の発案により、東海地区合同通信三田会三色旗が新調され、そのお披露目も行われた。今後三色旗は次期開催県にバトン代わりに引き継がれる。続いて当会会員の西洋史研究家



石川・福井地区合同通信三田会報告 石川通信三田会会長 徳光 重希

平成29年10月22日、石川・福井地区合同通信三田会が、石川県白山市(はくさん)市のグランドホテル白山で開催された。名峰白山は養老元年泰澄大師が開山したとされ、今年で一三〇〇年になります。全国通信三田会から田沼副会長、高橋副会長、伏屋顧問、福井通信三田会から志尾会長はじめ5名、そして石川通信三田会からは徳

光会長を含めて5名、合計で13名の出席があった。講演会は、「アフリカの真珠と呼ばれる国」と題して、JICAの青年海外協力隊の音楽隊員として2年間、アフリカのウガンダに派遣され、現地で音楽教育をされた小堀香奈さん(大阪音楽大学卒 現在白山市国際交流協会職員)の講演があった。懇親会は、講師の方も参加され、志尾会長の乾杯の



を思った。

会長紹介

高知通信三田会 加納弘史会長の素顔



今回は高知に転居して10年になる私が加納弘史会長にインタビューしました。

Q..通信教育を始めた動機は? A..当時の電電公社に入社して、先輩から「東京で40日のスクーリングがあって、その期間は休暇。給与も6割は貰える制度があるので行かないか」と誘いを受けました。私は、昭和31年、小学校4年生の時に東京女子医大で心臓の手術を受けた事もあって「1週間位ゆっくり東京へ行ってみよう」と

以前から思っていましたから、すぐに「行ってみよう」との思いになりました。スクーリングは大変面白くて、多様な論議がある事、その中で、他人の説を批判して自分の説を堂々と主張している教授の講義に「学問の自由」は素晴らしいと実感しました。この時初めて、「ここが慶應義塾大学であることを認識したように思っています。 Q..慶友会の思い出は? A..昭和40年代はスクーリングの時に、各慶友会の対抗ソフトボール大会があり、高知のチームは勝ち進んで、賞品を貰った事を覚えてます。 当時は、学園紛争もあり、校舎のいたる所の壁やガラスに張り紙がされ、ヘルメット姿の学生がアジ演説をしていた事を思い出します。

Q..単位の取得など、何か苦労は? A..私は、英語が苦手です10年以上かかりました。もともと「東京へゆっくり行ってみたい」が希望だったので、卒業は意識していませんでした。時間ができれば、レポートを書いて試験を受けていました。 時事問題の法律論争が面白くて、「法学セミナー」や「法律時報」、時には「ジュリスト」の月刊誌を買って読むのが楽しみでした。最後の英語の単位が取れた時には、卒業に必要な単位数をオーバーしていました。 Q..高知通信三田会では、どのような事を? A..卒業後いつの頃からか、懇親会などの連絡係をさせて頂いていました。その内に、会長になっていました。 中・四国の通信三田会のご案内も頂き、皆さん方との交流もさせて頂く事ができて大変うれしく思っています。 現在70歳を過ぎましたが、今はいろんなボランティアの活動で多忙です。海外や国内旅行も楽しんでます。(文責 高知通信三田会 田植 慧子)

慶應義塾大学池井優名教授が昨年11月、実に魅力的な本を出版された。吉田茂、松下幸之助、川端康成、司馬遼太郎、古賀政男、古橋廣之進、王と長嶋、長谷川町子、羽生善治、イチロー...から錦織圭、まで政治、経済、文学、スポーツ、芸能などさまざまな分野のスーパースターを取り上げ、同時代の日本人に夢を与えた彼らが挫折や失敗を乗り越え、成功にいたるまでのストーリーが数々のエピソードを交えて紹介される。 外交史の専門家が、各種の文献とゆかりの地を訪れるなどして集めた資料を巧みにアレンジし自由な筆致でつづった著書である。 まず手に取って一読を勧めたい。(文責 吉浜 健二)

本の紹介

『あの頃日本人は輝いていた 時代を変えた24人』 池井 優著



芙蓉書房出版 (税込1836円)

### 多趣味の人：ピアノも外国語も天才 全国通信三田会副会長 吉浜健二

加納時男名誉会長が彼岸に逝って、1月17日で早一年が瞬く間に過ぎた。想い出は尽きないものがある。加納さんは、通信三田会のみならず、経済界、政界、学術界、地域社会、PTA、家族など多岐の場においても存在感を世に問いつつ、偉大な先達であったとつくづく感じている。

一九八〇年代以降、加納さんは、いわゆる「ミスター・エネルギー」として40代後半からは、内外で著名な論客になっていったからである。加納時男さんは、82年の人生において20冊以上の著書を世に送り出し、多分五百以上の論文等を新聞・週刊月刊誌・学術誌・東大など大学関係誌等に発表されているだろう。

二〇一〇年12月発行の最後の著書「三つの橋を架ける」の中で、当時すでに肺がんを公表していたので、まるで遺書のように、自分の生い立ちを語っている。「幼い頃の私の夢は音楽家になることだった。ピアノの母は4歳からピアノを習っていた。私には兄の通っている慶應幼稚舎に入れ、音楽の道に進ませるのが夢だった。ところが5歳の時父が急死し、叔父の藤山一郎(国民栄誉賞の歌手)

から「音楽家として生き残れる才能があるかどうか分からない」と言われ断念し、音楽は趣味の世界に楽しむことにした」と述懐している。その後、東大法学部に在籍し、その後、慶應義塾大学も卒業し、通信三田会を立ち上げ40数県に地域三田会創設を支援し、会長・名誉会長として、病苦を克服しつつ足跡を示したことが、加納さんの夢は実現したのであった。

さて、加納時男さんはフィギュアスケート、アコーディオン、三味線、琴なども玄人はだしの多趣味の人であった。とりわけピアノは天才であった、と思う。そのエピソード。一九八一年当時、ヨーロッパでの欧米各国の環境問題の会議の途上、当時スウェーデンの環境大臣夫妻から自宅のデザイナーへお招きを受けたことがあった。

可愛なお嬢さんがいて、食事前に遠来の客に対しピアノでもてなしてくれた時のこと、「今晩の食事を一緒にいただいたことは楽しいこと、♪神に感謝!」というような内容の歌を、2分間ほどスウェーデン語で祈りを込めた口調で家族揃って歌って歓迎してくれたこと

があった。加納さんはメモ用紙を取り出すとボールペンで五線譜をすらすらと書いた。もう一度歌つてもらい音符をすばやく書き留めた。三度目に歌詞を書き留め号やカタカナで書き留めた。そして、何と四度目はピアノでお嬢さんと高音、低音を分担し連弾で、原語で歌い上げたのであった。「ミラクル!」と家族から驚きの声が発せられた。

また、ロンドンでは世界エネルギー協会会長として連日、あの流ちょうな日本語と同じスピードの英語で会議をとりしきった。そのあと、デザイナーの会長招待会の席上、燕尾服の正装に着替えて、得意のピアノでショパンを10分以上も楽譜なしで弾き終わり、ここでも「ミラクル!」の万雷の拍手に包まれた。

ロシア、フランス、イタリア、スペイン、北京、上海、オーストラリアなど訪問国それぞれで、最低3〜5分間は挨拶できるその絶対音感に確かだと感じた。もちろん日本各地のなまりの発音も見事なものだった。近年グローバル化が世に喧伝されているが、加納さんは、まさにグローバルに世界を早くから駆け抜けた戦いの人生を築いて生きてきた。周辺、家族に後顧の憂いを一切残さずきれいに堂々と逝った加納時男さんの遺徳を伝える一人の後輩になりたい、と念願している。

### 故加納時男名誉会長の思い出 茨城通信三田会副会長 山木直人(平成8経卒)

故加納時男名誉会長はかねてより病氣療養中のところ、平成29年1月17日、早朝、ご自宅にて心不全のため満82歳の生涯を閉じられた。そして、21日には東京・五反田の「桐ヶ谷斎場」にて「お別れ会」が営まれ、首都圏近隣の各三田会を中心にして、茨城からも山岡恒夫会長、高木昂顧問、山木の3人と福島から森正次会長が参列し悲しみの弔問をした。また『大変お世話になった三田会「中興の祖」である名誉会長を春の高知幹事会でも冒頭に追善供養したい』との要望が、西日本の各地域三田会から寄せられ実施されたと聞いた。



「塾歌」演奏が聴こえるよう!

記憶がある。さらには「茨城記念誌」にも同様に写真を掲載した記事を読まれて、後日、声を掛けていただく機会があった。心の広い優しいお人柄の思い出である。合掌



### 加納時男先生を偲ぶ 平十二経 東海林徹

一九九九年の秋、横浜慶友会会月例会に全国通信三田会の幹事が見え、ランドマークタワーで開催された講演会と懇親会へ招待された。会合へ出席すると大勢の塾員の中で塾生は私一人であった。そして懇親会では加納会長のお隣の席を勧められ着席し、加納先生と初めてお話をした。当時の私は、日本IBMの関連会社に勤務する傍ら、二〇〇〇年三月に卒業を

目指す塾生であり、かつ、ある精密機器のメーカーからコンサルティング会社設立を依頼され、超多忙な日々を送っていた。しばし、加納先生との会話の後、「二〇〇〇年卒業祝賀会の準備を手伝って欲しい。また、新橋の第一ホテルに幹事が集まるので来て欲しい。銀座の交詢社で連合三田会の会合があるので出席して欲しい。」と矢継ぎ早にいろいろお話を頂いた。

師は、慶應大学病院の高齢の女医さんで、いろいろな団体の役員をされておられ、私からの頼まれごとには絶対に「断らない」と講演されたのが印象的で、加納先生からのお話を全て手帳に書き込んだ。この出会いが全国通信三田会会員となったきっかけです。なお、私はいつの間にか後期高齢者の仲間入りをしたシニアですが、現在、日本IBM時代の友人から頼まれ、小さなIT企業の人事部で仕事を続けております。

### 加納時男名誉会長の教え

歴代の全国通信三田会長は、辣腕であり人格者でもあった。その中でも、加納名誉会長は「中興の祖」という評価の面より、献身的な姿勢が忘れられない。加納名誉会長は新聞記事に「(徳目として)優先順位に勤勉・正直・感謝」を挙げられ、「できる人とできた人」の違いとして「勤勉・正直はあるていどできる」かもしれないが「感謝」は「相手の心の痛みや恩を忘れない」としている。心がけていけば出会い・触れ合いの輪がひろがっていく。そして、「人生を振り返って重みとなるのは、富・名声・権力でなく人間のぬくもり」ということを自ら実践された。私も生涯の指針にしたい。埼玉通信三田会会長 大川成一

### 憧れの人加納時男さん 平九経 野口雄一郎

一九九四年五月慶早戦戦覧試合応援の帰路、名古屋への新幹線の中で愛知通信三田会の伏屋さんの話を熱心に聞いていました。

「早く卒業して三田会に入ってください。慶友会もいいですが素晴らしい塾員に会えますよ。会長は加納時男さんです。東大法学部を卒業して慶應を通信で卒業した方です。東京電力の副社長をやっていたらしいですよ。藤山一郎の甥でピアノもお上手です。」

「三・一一の原子力発電所事故は、まさに想定外の重大事故でした。原子力発電推進者の加納さんにとって経歴に傷がついたことは間違いありません。しかし原子力発電は全て悪だという多くのマスコミ論調に

加納時男名誉会長をお見かけしたのは昨年、「二万五千人達成記念行事」が最後のお姿でした。亡くなられて改めて全国通信三田会の発展のために大変にご尽力されたことに感謝の念がつきません。

### 加納時男さんを偲んで

ここに平成一六年度のわが札幌通信三田会の総会に、加納会長(当時)と伏屋重晴様(現 愛知通信三田会名誉会長)と共に出席された集合写真があります。今となっては貴重な写真となりました。お元気であった頃は毎年のようにわが札幌通信三田会の新年会や総会など節目の年の周年記念行事にご出席されて大変に有難く思っております。

お陰様で名古屋転勤時代のちよど4年間で卒業でき三田会に入会させていただきまされた言葉、「慶應を通信教育で卒業したことが凄いで

す!!」は印象的でした。まさに通信教育課程卒業生の憧れの人でした。

私にとって、涯りなき道を究め、気品の源泉、知徳の模範を实践された憧れの人加納時男さんに変わりはありませ

忙しい仕事の合間をぬって、全国を駆け回って「通信の旗を建てるために一奔走されました。特に札幌通信三田会には、会長に就任されてすぐ

### 加納時男さんを偲んで

「自分がこの世から別の世界へ旅立つときに一番思うことは、お金だろうか、名誉だろうか、論文の数だろうか、国際会議で議長をやったかどうか……。一番大切なのは友との出会い、人との出会い、そして一緒に感じた共感であり、一緒にやった「共働」である、それらを通じて連帯感である。「塾」の「通信」を「卒業」した。この三つのキーワードをもっている通信三田会の仲間です。この仲間との出会いがこんなに素晴らしいことではありません。」



札幌通信三田会

2017年 全国通信三田会秋期幹事会 10月14日(土) 13時~17時 三田キャンパス 南校舎4階447教室

吉浜副会長の司会により開会

最初に下記の通り、議長ならびに書記が選出された。

- 議長：高橋豊副会長兼総務部長
書記：星野広報部副部長、須賀総務部副部長

次に山本総務部副部長より下記の出席確認があり、会議成立の宣言がなされた。

総員114名：出席幹事47人(41.2%)、欠席(委任状有)39人(34.2%) 合計75.4% 会議成立(なお、届出無28人(24.6%))

顧問紹介：田中・鈴木隆・伏屋・本間・明石各顧問

地域三田会(出席者)：東京・田中顧問(代理)、茨城・山岡、大阪・野村、埼玉・大川、神奈川・吉浜、千葉・渡邊、愛知・岩田、札幌・吉田、宮城・末永、栃木・小林副会長(代理)、群馬・中島、石川・徳光、福井・志尾、京滋・戸井、兵庫・筒井、山口・由元、香川・宮北、高知・加納、徳島・大原、熊本・田口、長崎・堀田各会長

1 議事次第

1. 山岡会長挨拶 KTM資料により報告。各地域通信三田会会長のご尽力に感謝する。長谷山彰新塾長は通信卒業祝賀会に8年連続出席されて非常に親近感がある。

2. 各部報告

- 2-1 企画部：出口企画部長
2-2 会計：大川副会長 会費納入増、単年度収支は黒字が予想。会計監査：本間会計監査。
2-3 広報部：幸治副会長兼広報部長。
2-4 渉外部：阿部副会長兼渉外部長
2-5 塾員情報部：田沼副会長兼塾員情報部長。
2-6 情報システム部：柴田情報システム部長。
2-7 総務部：高橋豊副会長兼総務部部長
次期会長・役員人事について
・次期会長：山岡恒夫現会長の留任で決議

新会長挨拶

人の好意に沿って周囲に助けられながら続けてまいりたい。
次期役員会：下記質疑があり、瀬戸田副会長を保留のうえ一括決議。

質疑① 宮北香川通信三田会より瀬戸田副会長の退任要請有り。慶友三田会50周年の出席者にかかわる言動などの問題に関して、加納高知通信三田会会長・明石顧問より瀬戸田副会長に説明の要請有り。瀬戸田副会長から退任したい旨発言有り。→田沼副会長より瀬戸田副会長退任の必要なし発言有り。

質問② 渡邊千葉会長より、なぜ自分が非常勤副会長なのか。→首都圏の地域通信三田会会長は自動的に非常勤副会長に就任する。

質問③ 非常勤副会長を拡大してはどうか。
質問④ 人事権は誰(どこ)にあるのか。→会則により部長以上は幹事会の決議。

< 記念撮影 >

3. 地域三田会の時間(意見交換会)

今回は3つのグループに分かれて協議

①首都圏・関東圏：星野さんより報告。

・2018年9月8日(土)・9日(日)於日光、関東圏による合同地域通信三田会を行う。

・2019年5月25日(土)・26日(日)群馬通信三田会としては、高崎にて、群馬通信三田会創立50周年記念行事と全国通信三田会春期幹事会を並行して行いたいとの希望だが、検討を要する。

②地方：田沼さんより報告。

- ・いい加減(良い加減)で話し合いした。
・新卒がないので、会員が増えない。
・合同通信三田会により活動の成果を上げている。
・慶友会と連携して活動している。

③その他：中島さんより報告。

- ・三田会には特定の組織や個人との交流を拒絶する特別なルールはない。
・良識あるモラルを持って交流して頂きたい。
・一部に過激メールがやり取りされているがこの幹事会で終わりにしたい。
・来年の春期幹事会までの約半年を経て相互の親睦を取り戻して頂きたい。

④フリートーク：

大阪・野村さんより、大阪からはここ数年出席しなかったが、これからは必ず全国通信三田会幹事会にも出席するようにしたい。徳島・大原さんより、瀬戸田さんも含めてこれからも一緒にやっていきたい。

平松さんより、卒業25年の幹事の活動において、瀬戸田さんにはいろいろアドバイスいただいてとても助けになった。

4. 2018年全国通信三田会春期幹事会について

下記のとおり、戸井京滋通信三田会会長より提案があり決議。
主催：全国通信三田会、共催：京滋通信三田会
日時：2018年5月26日(土) 11:30集合~
場所：【幹事会・講演会】一燈園 TEL: 075-595-3711 〒607-8025 京都市山科区四ノ宮柳山町29-13
【記念講演会】講師：相大二郎先生(一燈園・燈影学園学園長) 演題：「ここはどこだろう」

【懇親会】 京都ガーデンパレス TEL: 075-411-0111 〒602-0912 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605
【会費】6,000円
5月27日(日) 9:00~14:00
京都観光、京都御所散策等(希望者)
14:30頃 京都駅解散

II 懇親会：「イタリヤ食堂TOKABO」17:15~19:30頃
会費4,000円 (文責 総務部副部長 須賀 淳子 記)



南校舎の階段で記念撮影



懇親会場で若き血を熱唱

塾員紹介 三島神社 宮司

こうの河野正枝さん (平15文)



昨年3月「落ちないご利益のパワースポット」として本に紹介された三島神社(台東区下谷)を訪ねましたので、ご紹介いたします。(聞き手・幸治)

Qまず、三島神社の由来を伺いたいですか?
A鎌倉時代、弘安の役で武勇を馳せた伊予の豪族であった河野通有が武蔵野国に下向した際、上野山中を統治していた江戸氏の娘を妻として、河野家の氏神大山祇命を祀るため、三島神社を勧請したと考えられています。大山祇命は日本全土の山の神であり、勝利を司る武神としても信仰されている神です。この氏神様を祀り、代々河野家が三島神社の宮司を勤めております。鶯谷駅を降りるとすぐに元三島神社があり、そこが本家で当社は分家となります。

Q宮司になる勉強はどちらで学ばれたのですか?
A朝起きて、境内の掃除してから、「大祓詞」を奏上し、その後、ご祈祷の依頼があるとお祈りしてお話をします。宮司はその神社の最高責任者で、その下に禰宜、権禰宜、巫女さんなどがおります。そうした神社で働く人の教育をしたりもします。
Q貴女の後継者として娘さんが跡を継がれるのですか?
A娘も国学院大学で学び神職の資格を持っています。何とか娘と共に立派な神社に盛り上げていきたいと思っています。

Qこの神社ならではの特徴はありますか?
Aこの地域にはよく雷が落ちました。そこで神主が雷を井戸に閉じ込めたところ、「出してくれ」と頼むので「二度とここに落ちるな」と論じたところ落ちなくなりました。この逸話にちなみ売り上げなどが「落ちない」こと利益があるとされ、「不落守」が人気です。東京大空襲でも被災しなかった神社でもあります。
Qこの神社の特色はありますか?
A地方に行くとなれた神社があり、祝詞をあげる人もいなくますます荒れていきます。後継者がいなくなるという活力がなくなりつつあります。日本の国を元気にするには、後継者をそだて、神社も盛り立てていかないとダメです。

わが町紹介 福岡県小郡市

福岡県の中央部に位置する七ヶ伝説伝承の地、小郡市が、わが町「小郡市」です。人口は5万9千人、市を南北に西鉄大牟田線、JR鹿児島本線、九州自動車道が、東西に大分自動車道、甘木鉄道が走る交通要衝の地にあります。筑紫平野のなだらかな土地と宝満川の豊かな水の恵みを受け、昔から農業が盛んな地域であり、洋ラン、苺、米、麦等が栽培されています。

交通の便が良いことから福岡市のベッドタウンとして、1970年代より大規模な宅地開発が進められていて、人口も増えており、私も30年前に移り住んで来た一人です。観光スポットとして、地元では親しみを込めて「たなばたさん」と呼ばれている七夕神社を紹介します。正式には媛社神社と言って、その歴史は古く肥前国風土記(730年頃)にも記されている由緒ある神社で、媛社神(ヒメソノガミ)と織女神(シヨクジヨシノ)

織女神は、機織りの技術を身につけた方であると言われ、布を織る仕事から、女性の信仰を集めた神であると伝えられています。毎年8月7日には夏祭りが行われ、境内には全国各地から届けられた多数の短冊が飾り付けられて、出店や演芸も催され、とてもにぎわっています。横を流れる宝満川を挟んで対岸にかつて建立されていた「牽牛社」。水害などを理由に現在は「老松宮」に移され合祀されています。ここには織女神と相思の仲である犬飼神が祀られています。犬飼は七夕伝承の牽牛(彦星)のこととされています。

七夕の物語のように、宝満川を天の川に見立て、織女(七夕神社)と牽牛(牽牛社)を配する昔の人の信仰のロマンが息づく七夕神社とその周辺地域は、平成25年に、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして「恋人の聖地」に選定されています。

出会いとめぐり逢い「七夕の里おごおり」を象徴する夏の風物詩となっているのが、「小郡市民まつり」です。毎年8月下旬の土曜日に、駅前大通りには屋台が立ち並び、野外ステージでは織姫と彦星の七夕伝説など、沢山のイベントが行われています。小郡名物は鴨料理です。江戸時代には有馬藩の御用狩場、明治以後も鴨の狩猟場として保護されてきた歴史があり、皇室にも献上されたことがあるそうです。大正末期に建てられた建物のお部屋で、苺むすお庭を愛でながら鴨料理をいただくのは如何でしょうか。食事の後は、スポーツを。毎年3月下旬に開催されている日本陸連公認コースの福岡小郡ハーフマラソンは年々参加者が増えて今年39回を重ねています。国内で約2000を超えるマラソン大会の中で参加者が5000人を超える大会は175大会開催されていて、この大会もその一つに位置付けられています。私も今回2年ぶりに走り、2時間3分で完走しさわやかな汗を流しました。 松尾成男(昭57法)

が祀られています。織女神は、機織りの技術を身につけた方であると言われ、布を織る仕事から、女性の信仰を集めた神であると伝えられています。毎年8月7日には夏祭りが行われ、境内には全国各地から届けられた多数の短冊が飾り付けられて、出店や演芸も催され、とてもにぎわっています。横を流れる宝満川を挟んで対岸にかつて建立されていた「牽牛社」。水害などを理由に現在は「老松宮」に移され合祀されています。ここには織女神と相思の仲である犬飼神が祀られています。犬飼は七夕伝承の牽牛(彦星)のこととされています。

七夕の物語のように、宝満川を天の川に見立て、織女(七夕神社)と牽牛(牽牛社)を配する昔の人の信仰のロマンが息づく七夕神社とその周辺地域は、平成25年に、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして「恋人の聖地」に選定されています。出会いとめぐり逢い「七夕の里おごおり」を象徴する夏の風物詩となっているのが、「小郡市民まつり」です。毎年8月下旬の土曜日に、駅前大通りには屋台が立ち並び、野外ステージでは織姫と彦星の七夕伝説など、沢山のイベントが行われています。小郡名物は鴨料理です。江戸時代には有馬藩の御用狩場、明治以後も鴨の狩猟場として保護されてきた歴史があり、皇室にも献上されたことがあるそうです。大正末期に建てられた建物のお部屋で、苺むすお庭を愛でながら鴨料理をいただくのは如何でしょうか。食事の後は、スポーツを。毎年3月下旬に開催されている日本陸連公認コースの福岡小郡ハーフマラソンは年々参加者が増えて今年39回を重ねています。国内で約2000を超えるマラソン大会の中で参加者が5000人を超える大会は175大会開催されていて、この大会もその一つに位置付けられています。私も今回2年ぶりに走り、2時間3分で完走しさわやかな汗を流しました。 松尾成男(昭57法)



媛社(ひめこそ)神社